



アクセサリ

- [サポートされるアクセサリ, 1 ページ](#)
- [電話機に関連付けられたアクセサリを表示する, 2 ページ](#)
- [ヘッドセット, 2 ページ](#)
- [Cisco IP Phone キー拡張モジュールセットアップの概要, 8 ページ](#)

サポートされるアクセサリ

電話機では、ヘッドセット、マイクロフォン、スピーカーなど、各種のアクセサリを使用できます。次の表は、電話機ごとに使用できるアクセサリを示しています。

次の表で、Xは特定の電話機モデルでアクセサリがサポートされることを示し、ダッシュ (-) はサポートされないことを示します。

表 1: Cisco IP Phone 8800 シリーズのアクセサリ サポート

アクセサリ	タイプ	Cisco IP Phone			
		8811	8841	8851	8861
サードパーティ製アクセサリ					
ヘッドセット	アナログ	X	X	X	X
	アナログ ワイドバンド	X	X	X	X
	Bluetooth	—	—	X	X
	USB	—	—	X	X
マイクロフォン	外部 PC	—	—	—	X

アクセサリ	タイプ	Cisco IP Phone			
		8811	8841	8851	8861
スピーカー	外部 PC	—	—	—	X

電話機に関連付けられたアクセサリを表示する

ヘッドセットジャック、Bluetooth、またはUSBポートを使用して、電話機に外部ハードウェアを接続することができます。アクセサリリストには、アナログヘッドセットがデフォルトで含まれています。このヘッドセットは、ワイドバンドを有効にするように設定できます。

手順

-
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
- ステップ 2** 次のオプションのいずれかを選択します。
- [ステータス (Status)] > [アクセサリ (Accessories)]
 - [Bluetooth] > [デバイス (Devices)]
- ステップ 3** (任意) アクセサリを選択して、[詳細の表示 (Show detail)] を押します。
- ステップ 4** [終了 (Exit)] を押します。
-

ヘッドセット

ヘッドセットの製造者に問い合わせ、ご使用のシスコ電話機で使用できるかどうかを確認してください。

アクティブ コール中にヘッドセットを電話機に差し込むと、オーディオパスが自動的にヘッドセットに切り替わります。

標準ヘッドセット

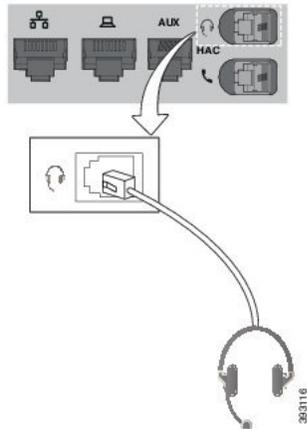
デスクの電話機では標準のヘッドセットを使用できます。

標準ヘッドセットの接続

標準ヘッドセットは電話機の背面に差し込みます。

手順

電話機背面のジャックにヘッドセットを差し込み、ケーブルチャンネルの中にケーブルを押し込みます。



ワイドバンド標準ヘッドセットのセットアップ

広帯域オーディオに対応するヘッドセットを使用できます。広帯域オーディオでは、ヘッドセットから聞こえる音声の質が改善されます。

手順

- ステップ1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
- ステップ2 [ステータス (Status)] > [アクセサリ (Accessories)] > [アナログヘッドセット (Analog headset)] > [セットアップ (Setup)] を選択します。
- ステップ3 [オン (On)] または [オフ (Off)] を押してアナログヘッドセット用ワイドバンドを有効または無効にします。
- ステップ4 [戻る (Return)]  を押します。

USB ヘッドセット

電話機に USB ポートがある場合は、USB ヘッドセットをコールに使用できます。

電話機に複数の USB ポートがある場合、一度に接続できる USB ヘッドセットは1つのみです。

サポートされるヘッドセットの一覧については、『[Unified Communications Endpoint and Client Accessories](#)』を参照してください。一覧に含まれないUSBヘッドセットをUSBポートに接続して

も正常に機能しない場合があります。詳細については、USB ヘッドセットの製造元が提供するマニュアルを参照してください。

USB ヘッドセットの接続

電話機で USB ヘッドセットを使用するときには、次の点に注意してください。

- 同時に使用できるヘッドセットは 1 台のみです。最後に接続されたヘッドセットがアクティブヘッドセットとなります。
- アクティブ コール中に USB ヘッドセットを取り外すと、音声自動的にスピーカーに変更されます。
- アクティブ コール中に USB ヘッドセットを取り付けると、音声 USB ヘッドセットに変更されます。

手順

USB ヘッドセットのプラグを電話機の USB ポートに差し込みます。

Bluetooth ヘッドセット

電話機が Bluetooth に対応している場合は、Bluetooth ヘッドセットをコールに使用できます。

電話機で Bluetooth ヘッドセットを使用するときには、次の点に注意してください。

- Bluetooth ヘッドセットと標準ヘッドセットの両方が電話機に接続されている場合、動作するのは常に一方のタイプのヘッドセットだけです。一方のヘッドセットを有効にすると、他方は自動的に無効になります。
- USB ヘッドセットを使用する場合、Bluetooth およびアナログヘッドセットはどちらも無効になります。USB ヘッドセットを取り外した場合、Bluetooth ヘッドセットまたは標準ヘッドセットを有効にする必要があります。
- ヘッドセットの最適なカバレッジを確保するには、Bluetooth ヘッドセットを電話機から 3 m (10 フィート) 以内の範囲で使用してください。
- 電話機は、Bluetooth ハンズフリープロファイルをサポートしています。Bluetooth ヘッドセットでサポートされている場合、次の機能を Bluetooth ヘッドセットから実行できます。
 - コールの応答 (Answer a call)
 - コールの終了 (End a call)
 - ヘッドセットのコールの音量を変更する
 - 番号をリダイヤルする
 - 発信者 ID を表示する
 - コールを拒否する

- コールを即転送する
- 着信コールに応答してコールを保留にする
- 着信コールに応答してコールを終了する

詳細については、Bluetooth ヘッドセットの製造元から提供されたマニュアルを参照してください。

関連トピック

- [Bluetooth と電話機](#)
- [Cisco IP Phone 8800 シリーズ](#)
- [ペアリングされた Bluetooth デバイスの表示](#)
- [モバイルデバイスとデスクの電話機](#)
- [モバイルデバイスとデスクの電話機](#)

Bluetooth をオンまたはオフにする

Bluetooth がアクティブの場合、Bluetooth アイコン  が電話スクリーンのヘッダーに表示されません。

手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
- ステップ 2 [Bluetooth] を選択します。
- ステップ 3 [オン (On)] または [オフ (Off)] を押します。
- ステップ 4 [設定 (Set)] を選択します。

Bluetooth ヘッドセットの追加

手順

- ステップ 1 Bluetooth ヘッドセットを検出可能にします。
- ステップ 2 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
- ステップ 3 [Bluetooth] > [デバイス (Devices)] を選択します。
- ステップ 4 [スキャン (Scan)] を選択します。
- ステップ 5 ヘッドセットを選択し、[接続 (Connect)] を押します。
- ステップ 6 (任意) プロンプトが表示されたら、ヘッドセットの PIN を入力します。

Bluetooth ヘッドセットの切断

Bluetooth ヘッドセットを別のデバイスで使用するには、先に接続を切断してください。

手順

-
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [Bluetooth] > [デバイス (Devices)] を選択します。
 - ステップ 3 Bluetooth ヘッドセットを選択します。
 - ステップ 4 [切断 (Disconnect)] を押します。
-

Bluetooth ヘッドセットの削除

電話機で以後 Bluetooth ヘッドセットを使用しない場合は、ヘッドセットを削除します。

手順

-
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [Bluetooth] > [デバイス (Devices)] を選択します。
 - ステップ 3 Bluetooth ヘッドセットを選択して、[削除 (Delete)] を押します。
-

ワイヤレス ヘッドセット

電話機でほとんどのワイヤレス ヘッドセットを使用できます。サポートされているヘッドセットのリストについては、http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html [英語] を参照してください。

ヘッドセットの接続および機能の使用については、ワイヤレス ヘッドセットのマニュアルを参照してください。

コール中のヘッドセットの切り替え

アナログヘッドセット、Bluetooth ヘッドセット、USB ヘッドセットを同時に電話機に接続できません。ただし、同時に使用できるヘッドセットは 1 台のみです。

複数のヘッドセットを電話機に接続したときは、電話機のヘッドセット キーを押して通話中にヘッドセットを切り替えることができます。電話機は複数のデバイスに接続されていますが、優先されるオーディオ デバイスとして次の優先順位で特定のヘッドセットが選択されます。

- USB ヘッドセット、Bluetooth、アナログ ヘッドセットを電話機に接続した場合、USB ヘッドセットを優先されるオーディオ デバイスにできます。
- Bluetooth とアナログ ヘッドセットを電話機に接続した場合、Bluetooth デバイスを優先されるオーディオ デバイスにできます。
- アナログ ヘッドセットのみを電話機に接続した場合、アナログ ヘッドセットが優先されるオーディオ デバイスになります。

手順

-
- ステップ 1** コールの発信または応答の前に、[ヘッドセット (Headset)] を押します。
- ステップ 2** (任意) 発信する場合は、番号をダイヤルします。
-

コール用のオーディオ デバイスの指定

アナログヘッドセット、Bluetoothヘッドセット、USBヘッドセットを同時に電話機に接続できます。ただし、同時に使用できるヘッドセットは1台のみです。

複数のヘッドセットを電話機に接続した場合、コールに使用するオーディオデバイスを選択できます。回線キーまたは対応するソフト キーを使用してコールの発信または応答を行うときに、選択内容が適用されます。

[優先オーディオデバイス (Preferred audio device)] で選択した設定に基づいて、オーディオデバイスが選択されます。

手順

-
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications)] ボタンを押します。
- ステップ 2** [ユーザ設定 (User preferences)] > [オーディオ設定 (Audio preferences)] > [優先オーディオデバイス (Preferred audio device)] を選択します。
- ステップ 3** 次のいずれかのオプションを選択します。
- [なし (None)] : 最後に使用したオーディオデバイスを選択します。
 - [スピーカー (Speaker)] : オーディオ デバイスとしてスピーカー フォンを選択します。
 - [ヘッドセット (Headset)] : オーディオデバイスとしてヘッドセットを選択します。ヘッドセットの優先順位は、USB (高)、Bluetooth (中)、ヘッドセット (低) です。

- [Bluetooth] : オーディオデバイスとして Bluetooth を選択します。優先順位は、Bluetooth (高)、USB (中)、アナログヘッドセット (低) です。

ステップ 4 [設定 (Set)] を押します。

コール用のオーディオパスの動的な選択

アナログヘッドセット、Bluetoothヘッドセット、USBヘッドセットを同時に電話機に接続できます。ただし、一度に使用できるのは1台のみです。

複数のヘッドセットを電話機に接続すると、コール中に使用されるオーディオパスは、接続されているオーディオデバイスに基づいて変更されます。

手順

- ステップ 1** (任意) アナログヘッドセットと Bluetooth ヘッドセットを電話機に接続してコールしているときに、USB ヘッドセットを接続します。コールが USB ヘッドセットに切り替わります。
- ステップ 2** (任意) 電話機に接続された USB ヘッドセットを使用してコールしているときに、USB ヘッドセットを外します。Bluetooth ヘッドセットが接続されている場合は、コールがそのヘッドセットに切り替わります。それ以外の場合は、コールがスピーカーに切り替わります。
- ステップ 3** (任意) 電話機に接続された Bluetooth ヘッドセットを使用してコールしているときに、Bluetooth ヘッドセットの接続を切断します (つまり、範囲外に移動するか、ヘッドセットの電源を切ります)。USB ヘッドセットが接続されている場合は、コールがそのヘッドセットに切り替わります。それ以外の場合は、コールがアナログヘッドセットに切り替わります。
- ステップ 4** (任意) アナログヘッドセットと USB ヘッドセットを電話機に接続してコールしているときに、Bluetooth ヘッドセットを接続します。コールが Bluetooth ヘッドセットに切り替わります。
-

Cisco IP Phone キー拡張モジュールセットアップの概要

Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュールは、ラインアピアランス、短縮ダイヤル、またはプログラム可能ボタンを電話機に追加します。プログラム可能ボタンは、電話回線ボタン、スピードダイヤルボタンまたは電話機能ボタンとして設定できます。

Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュールは、プログラム可能ボタンを電話機に追加します。プログラム可能ボタンは、電話回線ボタン、スピードダイヤルボタンまたは電話機能ボタンとして設定できます。



次の表に、電話機のモデルと、各モデルでサポートされるキー拡張モジュールの数を示します。

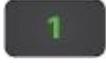
表 2: Cisco IP Phone とサポートされるキー拡張モジュール

Cisco IP Phone モデル	サポートされるキー拡張モジュール
Cisco IP Phone 8851	2 つ、72 の回線またはボタンを提供
Cisco IP Phone 8861	3 つ、108 の回線またはボタンを提供

Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュール ボタンとハードウェア

次の表では、キー拡張モジュールの機能について説明します。



	<p>LCD スクリーン：電話番号、短縮ダイヤル番号（または名前などのテキストラベル）、電話機サービス、電話機の機能、または各ボタンに割り当てられたプライバシーが表示されます。</p> <p>回線ステータスを示すアイコンの外観と機能は、キー拡張モジュールが接続されている電話機のアイコンと似ています。</p>
1	<p>ライト付きボタン：18 個のボタン。モードに応じて、各ボタンまたはボタン ペアが 1 つの回線に対応します（電話機の場合と同じです）。詳しくは、この表の後にある 2 列モードの説明を参照してください。各ボタンの下のライトは、対応する回線の状態を次のように示します。</p> <ul style="list-style-type: none">  消灯：ボタンが設定されていません。  緑色に点灯：回線が正常に設定されて登録され、アイドル状態になっています。  赤色に点灯：回線が使用中であり、アクティブなコールがあります。  オレンジ色に点灯または点滅：この機能のセットアップ中に設定エラーが発生しました。
2	<p>シフト ボタン：2 つのボタンがあります。各ボタンは、18 個のボタンがある 1 つのページに対応しています。最初のページのボタンには 1、第 2 ページのボタンには 2 のラベルが付きます。各ボタンのライトは、ページの状態を次のように示します。</p> <ul style="list-style-type: none">  緑色に点灯：ページを表示中。  消灯：ページが非表示。  オレンジ色に点灯：ページが非表示で、ページ上にアラート状態のコールが 1 つ以上ある。

2 列モードでキー拡張モジュールを表示するよう、管理者が設定します。

2列モード

2列モードでは、画面の左右の各ボタンに異なる電話番号、短縮ダイヤル番号（または名前などのテキストラベル）、電話サービス、または電話機能が割り当てられます。この設定では、キー拡張モジュールでページ1に最大18個、ページ2に最大18個の項目が表示されます。

図 1: キー拡張モジュール（2列の場合）



画面の明るさの調整

キー拡張モジュール画面の明るさを変更して、画面を見やすくすることができます。

手順

-
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [アテンダントコンソール設定 (Attendant console preferences)] を選択します。
 - ステップ 3 4 ~ 15 の範囲内の数を入力してください。
 - ステップ 4 [設定 (Set)] を押します。
-

キー拡張モジュールでの短縮ダイヤルの変更

キー拡張モジュールの回線キーのいずれかが短縮ダイヤルとして設定されている場合、回線キーを押して短縮ダイヤル番号を変更できます。また、[設定ユーティリティ (Configuration Utility)]

ページの [ユニット (Unit)] フィールドでこの変更を確認することができます。キー拡張モジュールの回線キーが、BLF、BLF+コールピックアップ、BLF+コールパーク、またはコールパークとして設定されている場合は、回線キーを押したときに短縮ダイヤル番号を変更することはできません。

手順

- ステップ 1** キー拡張モジュールの短縮ダイヤル キーを 2 秒以上押します。
 - ステップ 2** [短縮ダイヤルの定義 (Define Speed Dial)] ウィンドウで、キー拡張モジュールの短縮ダイヤル キーを押したときにコールする短縮ダイヤルの名前と電話番号を追加します。
 - ステップ 3** [保存 (Save)] を押します。
-